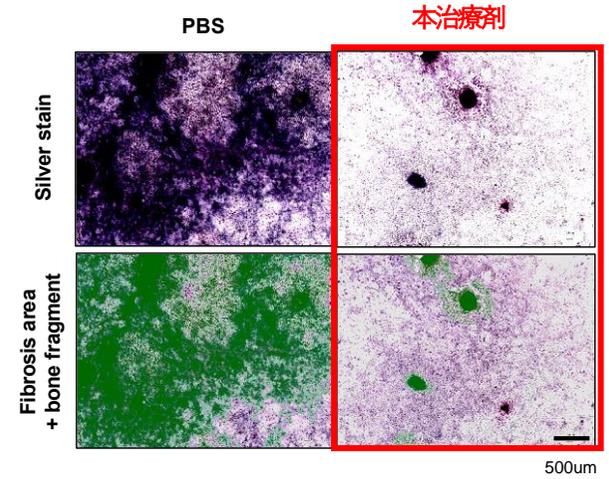


希望する連携形態：実施許諾契約、共同研究契約、技術検討のための契約 など

# 線維化が抑制され、明確に効果実感が得られる 骨髄線維症の予防、治療剤

背景

骨髄増殖性腫瘍は、数年から数十年かけて進行する慢性腫瘍であり、その特徴として、血球増殖（さらには貧血）及び骨髄線維症が挙げられる。骨髄線維症については、効能が記載されている薬剤はあるものの、臨床現場での認識としては、明確に効果実感が得られる治療とまでは言えない。そこで、明確に線維化が減少し効果実感が得られる、予防、治療剤が求められている。



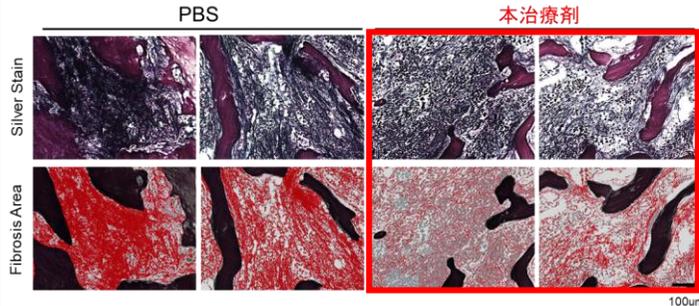
疾患オルガノイドを用いた本治療剤による骨髄線維症抑制効果  
※銀染色で線維化を染色

## Overview

技術の内容

### 疾患モデルマウスにおいて骨髄線維症への効果を確認

- ある生体物質を補うことで、骨髄線維症の発症を強力に抑制できることを見出した。
- 疾患オルガノイド、疾患モデルマウスで、骨髄線維化の抑止効果を確認済み。



疾患モデルを用いた本治療剤による骨髄線維症抑制効果  
4週間、本治療剤投与後の銀染色(上段)とそのデジタル処理画像(下段)

## Benefit

技術の利点

### リスクが小さく効果的な治療を実現

- 既存の治療法は、対症療法であり効果実感が得られず、根治が困難。移植は根治が可能だがリスクが高い。
- 本技術は、線維化そのものをターゲットとするため根治治療の可能性が期待できる。

	JAK阻害剤	造血幹細胞移植	本治療剤
効果	△ 対症療法	◎ 根治治療	○ 根治治療の可能性
リスク	○	×	○
コスト	○	×	○

## Practical use

産業への応用

### 新規な骨髄線維症治療、予防剤

- アンメットメディカルニーズに対応。
- 本技術にかかる物質は作用が広く知られており、臨床試験のリスクは少ない。
- ドラッグリポジショニングが可能。

